

M-2-1

一、次の文を中国語に翻訳せよ。(50%)

テレビのパラエティー番組で、いわゆる「インターネット中毒」が取り上げられた。四六時中ネットを利用していると「脳が退化」し、果ては「妄想や幻覚を見る」とまで話が発展したが、本当だろうか。

実際にインターネット依存症を扱う病院が国内にはある。しかし治療を始めたのは最近で症例の蓄積が少なく、具体的な解明はこれからだ。

「ネット中毒」に焦点を当てたのは、2012年11月7日放送の「ホンマでっか!?TV」(フジテレビ系)に出演した教育評論家の尾木直樹氏だ。「コンピューターを使い過ぎると脳が退化する」と口火を切ると、情報を容易に探し出せるネットに頼り過ぎれば、自分の脳で考えなくなると述べた。

これに脳科学者の澤口俊之氏が続いた。ネットの使い過ぎが原因による「Internet Addiction Disorder」(IAD=インターネット依存症)では、重度の症状になると妄想や幻覚が見えるという。攻撃性が増して社会性が失われ、「覚せい剤中毒とほぼ同じ。そうなったら隔離しないとダメ」と刺激的な話も飛び出した。1日ネットに触れなかった際にイライラや不眠が増したら、「中毒」の初期段階らしい。

【2012/11/9のJ-CASTニュースより抜粋】

二、請將下列中文翻成日文。(50%)

獲得幸福の步驟就是要先認識自己，接受真實的自己，進而喜愛自己。然後就會知道自己要什麼？為何而活？進而找到自己的信仰，也找到自己靈魂的主宰。這時候的你，已經可以和這個世界愉快的相處，從大自然裡得到快樂和寧靜，和身邊遇到的任何人都能和平相處、相互尊重。最後當你學會了承擔世間的痛苦，幸福將隨時隨處俯拾皆是。

媽媽是個笑口常開的幸福之人。因為她覺得自己很平庸但很幸運，她總覺得別人都比她聰明，所以她發自內心的欣賞別人，讚美別人，也常給別人溫暖和方便。我幾乎沒聽過她怨天怨地怨別人，她也不會怨自己，所以她是一個完全能接受自己的人。我的二姊最像媽媽，我問起她關於幸福的感覺，她燦爛的笑起來說：「我常常感到幸福。看到窗外綠意盎然，感到陽光曬在身上，有體力爬山，兒子弄一桌飯菜，替我鋪好被單，衣服洗好被曬起來，看一本好書，聽一場講道，親友們的问候和體貼，和家人聊天或回憶。」

幸福就是這樣隨手可得的。每個人每天每時每刻都有可能體驗到幸福，除非你是一個非常頑強又自以為是的人，把幸福當成是不能回收的垃圾，隨手丟棄，讓垃圾筒裡堆滿了你丟棄的幸福，兀自嘆息。

【擷取自《有些事，這些年我才懂：小野的人生思考》】